

2014かごしまの新特産品コンクール入賞商品が決定しました

かごしまの新特産品コンクールは、多様化する消費者ニーズに対応した売れる商品づくりを促進するための県内最大の特産品コンクールです。

10回目となる今回は、平成27年秋に鹿児島県で開催される「第30回国民文化祭・かごしま2015」に向けた土産品の開発促進や、平成30年に迎える「明治維新150周年」、平成27年から28年にかけて期待される鹿児島県の「近代化産業遺産」および「奄美群島自然遺産」の世界遺産登録に向けた新商品の創出に取り組みました。

170の応募商品の中から、食品部門、工芸・生活用品部門の両部門で各11品が入賞。どれも鹿児島県の魅力あふれる素晴らしい商品です。今後、県内外の百貨店や各種イベントなどで展示・販売が行われますので、ぜひお買い求めください。

鹿児島県知事賞

食品部門

ジャパニーズ・スピリッツ 光遠
(本坊酒造株式会社)



「白麹」を使った原酒に「ゆず」や「緑茶」などのポタニカル(植物)を加え、再蒸留することで生み出された鮮烈な香りと新しい味わいのアルコール度45%のスピリッツ(蒸留酒)。

ゆず由来するフレッシュな果実香、芋焼酎特有の力強いうま味、スピリッツならではの後味が余韻とともに残る新感覚のジャパニーズ・スピリッツです。

特産品の組み合わせやボトルのデザインといったアピール度の高さが評価されました。

工芸・生活用品部門

大島紬ネックレス「itu」
(原絹織物株式会社)



ituは、奄美の言葉で「糸」。大島紬ネックレス「itu」は、着物一反分の模様を染めた糸を使い、一つ一つ手織りで仕上げたネックレスです。泥染めの黒と絹糸の白の組み合わせが織り成す柄の種類は数えきれません。同じものにまたいた出会えるかわからない、その時の巡り合いを大切にしたいとの思いも重ね合わせてつくられています。

今までにない糸の使用法やデザイン、軽い着け心地が評価されました。

過去の入賞商品のそれから...

2013年に食品部門で鹿児島県知事賞を受賞した「旅する丸干し」は「平成26年度農林水産祭天皇杯」を受賞しました。



ウルメイワシの丸干しを洋風に味付けたオイルと一緒に瓶詰め、パッケージもおしゃれ。



第30回国民文化祭 鹿児島県実行委員会会長賞

SUB SOUP 茶節 (茶寿会 & 協和会)



元気になる飲み物として古くから鹿児島で親しまれている茶節。顕産茶葉と指宿山川産の本枯節を味噌と合わせ、深いうま味とやさしい味わいに仕上げた逸品を気軽に楽しめるようカップスープにしました。

Mar Apelarスポーツアロママッサージオイル (株式会社Mar United)



鹿児島県産のレモングラスをはじめ6種類の精油を含有したアロママッサージオイル。運動後に筋肉疲労などの速やかな回復をサポートするのはもちろん、運動前のウォーミングアップ時での使用も。また、足のむくみ、肩こりの改善も期待できます。

鹿児島県観光連盟会長賞

今回新設したテーマ商品の部から選ばれた入賞商品をご紹介します。

テーマ「明治維新150周年」



鹿児島ノアルコールビアテイスト飲料「SAIGO」(湯砂菜企画)



維新だいやめタンブラーセット (御茶碗屋つきの虫)

テーマ「奄美群島自然遺産」



沖永良部島生ハム シイラ/ソテカ(有限会社メークマ)



ペーパークラフト「ルリカクス」(株式会社エアポートTVネットワークジャパン)

問い合わせ先 県庁かごしまPR課 ☎099(286)3050

2014かごしまの新特産品コンクール入賞商品

検索

知っていますか？北朝鮮による拉致問題のことを

1970年代から80年代を中心に、多くの日本人がその意思に反して北朝鮮に連れ去られました。

北朝鮮は長年にわたり日本人拉致を否定していましたが、2002(平成14)年9月に初めて日本人を拉致していたことを認め、同年10月に拉致された日本人のうち5人が日本に帰国しました。

政府は北朝鮮による拉致被害者として17人を認定していますが、帰国された5人以外の方々については、いまだ北朝鮮から安否に関する納得のいく説明がありません。

また、そのほかにも拉致の可能性が疑われる行方不明の方々も多くおられます。

拉致問題に関心を持ってください。
拉致問題がいまだに解決していないことを知ってください。
それが、拉致問題の解決のために、とても大切な一歩になります。
皆さまのご理解と温かいご支援をお願いします。

鹿児島県に關係する拉致被害者等

拉致被害者の中には、本県出身の市川修一さんと増元るみ子さんがおられます。お二人は、今から36年前の昭和53年8月に日置市の吹上浜海岸に出かけたまま行方不明になりました。

また、民間団体である特定失踪者問題調査会が、北朝鮮による拉致の可能性を排除できないとして独自に調査の対象としている「特定失踪者」や警察に届けのあった「北朝鮮による拉致の可能性を排除できない行方不明者」の中にも、本県に關係する方々がおられます。

ブルーリボン

ブルーの色は、日本と北朝鮮を隔てる「日本海の青」、そして被害者と家族を結ぶ「青い空」をイメージしています。「北朝鮮による拉致被害者の生存と救出を信じている」意思表示です。

(政府 拉致問題対策本部ホームページから引用)

12月10日から16日までは「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です

県では、一人でも多くの県民の皆さまに拉致問題について理解を深め、関心を持ち続けていただくために、この啓発週間を中心にさまざまな取り組みを行っています。

○拉致問題啓発映画上映会および
拉致被害者家族講演会

日時 12月13日(土)
午後1時30分～午後3時10分
会場 始良市始良公民館
(始良市西餅田589番地)

このほか、県内各地で拉致被害者の写真などを展示するパネル展を開催します。開催期間や場所については、県ホームページでご確認いただくか、問い合わせ先にご照会ください。



問い合わせ先 県庁社会福祉課 ☎099(286)2828

鹿児島県 拉致問題

検索